

農業農村整備を推進し、北方領土隣接地域の振興を図る

～ 「北方領土返還要求根室市民大会」に参加しました ～

令和3年8月1日（日）「北方領土返還要求根室市民大会」が小雨の中、根室市内の道立北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）で開催され、元島民や家族・関係者ら約630人、当課からも2名の職員が参加しました。

根室市民が一堂に会し、国内外の世論の高揚を図ることを目的に開催されるこの大会は、北方領土返還要求運動を強力に推進していく上で、とても重要な役割を担っています。



鈴木知事のメッセージを代読
(遠藤振興局長)

大会式典では、大会長の石垣根室市長や来賓の方々の挨拶の後、北海道北方領土対策根室地域本部長の遠藤振興局長が、「根室市をはじめとする隣接地域の皆様と連携を図りながら、若年層を中心とした幅広い世代に向けて、ICTを活用した新たな啓発活動を展開するなど、国民世論の一層の喚起や機運の醸成に全力で取り組み、一日も早い北方領土の返還に向けて、外交交渉を支え、後押しとなるよう道の役割をしっかりと果たしていく」ことなどについて、鈴木知事のメッセージを代読しました。

農村振興課では、草地整備や農道整備を中心とした農業農村整備事業を根室管内1市4町で実施しています。

これら北方領土隣接地域が全国の北方領土返還要求運動の拠点としての役割や、北方四島における共同経済活動の中心的な役割を果たしていくことができるよう、道の『第8期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画』に基づき、「農業生産基盤の整備」はもとより、「ICTを活用した省力化や高品質化などスマート農業の実現に向けた新技術の開発・普及」、「農業・農村の多面的機能を発揮する取組」など、引き続き、農業農村整備を推進し、北方領土隣接地域の振興を図ります。



シュプレヒコール「北方領土、返せ！」